

## 春日井市乳がん検診実施状況調査の結果について

## 1 調査対象（27 医療機関等 資料 4-2）

- (1) 乳房超音波検査実施医療機関 (22 医療機関)  
 (2) 乳房 X 線検査（撮影は総合保健医療センター実施） (9 医療機関)  
 (3) 乳房 X 線検査（自院）※総合保健医療センターを含む (5 医療機関等)

## 2 調査結果

## (1) 乳房超音波検査実施医療機関(22 医療機関)

ア 検診に使用する超音波診断装置について（表 1-1）

- ❖ メーカー名は全ての医療機関で把握しており、販売開始時期を把握している医療機関及び把握していない医療機関は各 11 か所、50%であった。

イ 超音波診断装置の精度管理項目について（表 1-2）

- ❖ 質問項目(1)については、①から④の遵守率は 100%であるが、⑤の遵守率は 47.6%、遵守できている医療機関は 22 か所中 10 か所であった。  
 ❖ 質問項目(2)～(4)は、全ての項目について遵守率は 85%以上であった。

ウ 実施者の受講状況について（表 1-3）

- ❖ 22 医療機関のうち、(ア) 又は (イ) の受講がある医療機関は 7 か所で受講率は 31.8%であった。何も受講がない医療機関は 10 か所あり、その割合は 68.2%であった。

【表 1-1】 検診に使用する超音波診断装置

|        | メーカー名          | 医療機関数   | 販売開始時期の把握状況 |      |
|--------|----------------|---------|-------------|------|
|        |                |         | 把握有         | 把握なし |
| 装<br>置 | キャノンメディカルシステムズ | 11 医療機関 | 7           | 4    |
|        | GE             | 5 医療機関  | 1           | 4    |
|        | 富士フイルムヘルスケア(株) | 3 医療機関  | 2           | 1    |
|        | コニカミノルタジャパン(株) | 2 医療機関  | 1           | 1    |
|        | 日立             | 1 医療機関  | 0           | 1    |

|             | メーカー名          | 医療機関数   | 販売開始時期の把握状況 |      |
|-------------|----------------|---------|-------------|------|
|             |                |         | 把握有         | 把握なし |
| 探<br>触<br>子 | キャノンメディカルシステムズ | 11 医療機関 | 5           | 6    |
|             | GE             | 5 医療機関  | 1           | 4    |
|             | 富士フイルムヘルスケア(株) | 3 医療機関  | 1           | 1    |
|             | コニカミノルタジャパン(株) | 2 医療機関  | 1           | 1    |
|             | 日立             | 1 医療機関  | 0           | 1    |

【表 1-2】 超音波診断装置の精度管理項目

(か所)

| 設 問                                                 | 回 答         |            |          |
|-----------------------------------------------------|-------------|------------|----------|
| (1)装置について                                           | はい          | いいえ        | 不明       |
| ① リアルタイム断層装置を用いているか。                                | 22 (100.0%) | 0 (0.0%)   | 0 (0.0%) |
| ② 体表臓器用探触子の性能を十分に発揮できる装置を用いているか。                    | 22 (100.0%) | 0 (0.0%)   | 0 (0.0%) |
| ③ 乳腺に適したプリセットや画像調整が使用可能な装置であるか。                     | 22 (100.0%) | 0 (0.0%)   | 0 (0.0%) |
| ④ 超音波検査に係る必要な機器及び設備を整備するとともに、機器の日常点検等の管理体制を整備しているか。 | 22 (100.0%) | 0 (0.0%)   | 0 (0.0%) |
| ⑤ ファントムを用いた画像劣化の管理を行っているか。                          | 10 (47.6%)  | 11 (50.0%) | 1 (4.5%) |

| (2)探触子について                                               | はい          | いいえ       | 不明       |
|----------------------------------------------------------|-------------|-----------|----------|
| ① 各超音波機器メーカーが乳腺または体表用と標榜する探触子を使用しているか。                   | 22 (100.0%) | 0 (0.0%)  | 0 (0.0%) |
| ② 周波数帯域に 12MHz が含まれているか。                                 | 19 (86.4%)  | 3 (13.6%) | 0 (0.0%) |
| ③ 使用の装置「添付文書」に記載された「品目仕様」のペネトレーション深度（Bモード）が「40 mm」以上あるか。 | 21 (95.5%)  | 0 (0.0%)  | 1 (4.5%) |
| ④ 表示幅は 35 mm以上あるか。                                       | 22 (100.0%) | 0 (0.0%)  | 0 (0.0%) |
| ⑤ フレームレートは 15 フレーム/秒以上であるか。                              | 22 (100.0%) | 0 (0.0%)  | 0 (0.0%) |

| (3)モニタについて                            | はい          | いいえ      | 不明       |
|---------------------------------------|-------------|----------|----------|
| ① モニタは良好な画像が検者に負担なく観察できるものを使用しているか。   | 22 (100.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| ② モニタは評価するのに十分な大きさのものを使用しているか。        | 22 (100.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |
| ③ 液晶モニタは描画追従性が良好で角度依存性の少ないものを使用しているか。 | 22 (100.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |

| (4)記録装置について                                              | はい         | いいえ       | 不明       |
|----------------------------------------------------------|------------|-----------|----------|
| ① 静止画、動画ともに経時的変化で劣化することのないデジタル記録によって保存しているか。             | 20 (90.9%) | 2 (9.1%)  | 0 (0.0%) |
| ② 記録形式は DICOM か。やむなくファイルを圧縮する場合には、診断に支障を及ぼす過度な圧縮をしていないか。 | 19 (86.4%) | 3 (13.6%) | 0 (0.0%) |
| ③ ハードコピーなどのバックアップ手段を準備しているか。                             | 20 (90.9%) | 2 (9.1%)  | 0 (0.0%) |
| ④ 記録画像、出力画像は、実際に検査している画像が再現できるように、調整を行っているか。             | 21 (95.5%) | 1 (4.5%)  | 0 (0.0%) |

【表 1-3】 実施者の受講状況

※医療機関ごと（か所）

| 項 目                                | 受講した                        | なし            | 不明          |
|------------------------------------|-----------------------------|---------------|-------------|
| (ア) 日本乳がん検診精度管理中央機構主催又は共催の乳房超音波講習会 | 7 ※ <sup>1</sup><br>(31.8%) | 15<br>(68.2%) | 0<br>(0.0%) |
| (イ) 愛知県乳がん検診研究会の講習会                | 3<br>(13.6%)                | 19<br>(86.4%) | 0<br>(0.0%) |

※<sup>1</sup> (ア)の講習会に参加し、評価試験を終了した者 9 名（7 医療機関）の評価結果の内訳  
A：2 名 B：5 名 C：1 名 不明：1 名

## (2) 乳房 X 線検査(撮影は総合保健医療センター実施)(9 医療機関)

ア 読影する医師について（表 1-4）

- ❖ 読影する医師について、質問項目 (ア) の講習会の受講率は 44.4% である。  
9 医療機関のうち、(ア) 又は (イ) の受講がある医療機関は 5 か所で受講率は 55.6% であり、何も受講がない又は不明の医療機関は 4 か所であった。

【表 1-4】 読影する医師の受講状況

※医療機関ごと（か所）

| 項 目                                        | 受講した                        | なし           | 不明           |
|--------------------------------------------|-----------------------------|--------------|--------------|
| (ア) 日本乳がん検診精度管理中央機構主催又は共催の乳房エックス線検査に関する講習会 | 4 ※ <sup>1</sup><br>(44.4%) | 4<br>(44.4%) | 1<br>(11.1%) |
| (イ) (ア) に準ずるその他の乳房エックス線検査の講習会又は研修会         | 3 ※ <sup>2</sup><br>(33.3%) | 5<br>(55.6%) | 1<br>(11.1%) |

※<sup>1</sup> (ア)の講習会に参加し、評価試験を終了した者 4 名の評価結果の内訳  
B：2 名 C：2 名

※<sup>2</sup> 愛知県マンモグラフィ講習会（1 名）、不明（2 名）

## (3) 乳房 X 線検査(自院)(5 医療機関等) ※総合保健医療センターも含む

ア 使用する乳房 X 線撮影装置について（表 1-5）

- ❖ すべての医療機関の装置が日本医学放射線学会の使用基準を満たしたものであった。（参照：日本乳がん検診精度管理中央機構ホームページ）

イ 乳房 X 線撮影装置の精度管理項目について（表 1-6）

- ❖ 質問項目 (1)～(3) 及び (5) は遵守率 100% である。(4) は遵守率 60.0% であり、遵守できている医療機関は 5 か所中 3 か所であった。

ウ 撮影者及び読影する医師の受講状況について（表 1-7、表 1-8）

- ❖ どちらも、質問項目 (ア) の講習会の受講率は 100.0% であった。

【表 1-5】 検診に使用する乳房 X 線撮影装置

|        | メーカー名              | 装置名                  |
|--------|--------------------|----------------------|
| 装<br>置 | 富士フイルム メディカル       | AMULET f （2 医療機関）    |
|        |                    | AMULET ELITE         |
|        | GE Healthcare      | Seno graphe Pristina |
|        | キャノンメディカルシステムズ株式会社 | MGU-1000D            |

【表 1-6】乳房 X 線撮影装置の精度管理項目

(か所)

| 設 問                                                                                                      | 回 答        |           |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----------|
|                                                                                                          | はい         | いいえ       |
| (1) 乳房エックス線装置は、日本医学放射線学会の定める仕様基準（注）を満たしているか                                                              | 5 (100.0%) | 0 (0.0%)  |
| (2) マンモグラフィに係る必要な機器及び設備を整備するとともに、機器の日常点検等の管理体制を整備しているか                                                   | 5 (100.0%) | 0 (0.0%)  |
| (3) 日本乳がん検診精度管理中央機構（旧マンモグラフィ検診精度管理中央委員会）が開催する乳房エックス線検査に関する講習会又はこれに準ずる講習会を修了した医師又は診療放射線技師が乳房撮影をおこなっているか   | 5 (100.0%) | 0 (0.0%)  |
| (4) 乳房エックス線撮影における線量及び写真またはモニタの画質について、日本乳がん検診精度管理中央機構（旧マンモグラフィ検診精度管理中央委員会）の行う施設画像評価を受け、A または B の評価を受けているか | 3 (60.0%)  | 2 (40.0%) |
| (5) 二重読影の所見に応じて、過去に撮影した乳房エックス線写真と比較読影しているか                                                               | 5 (100.0%) | 0 (0.0%)  |

【表 1-7】 撮影者の受講状況

※医療機関ごと（か所）

| 項 目                                        | 受講した                         | なし           | 不明          |
|--------------------------------------------|------------------------------|--------------|-------------|
| (ア) 日本乳がん検診精度管理中央機構主催又は共催の乳房エックス線検査に関する講習会 | 5 ※ <sup>1</sup><br>(100.0%) | 0<br>(0.0%)  | 0<br>(0.0%) |
| (イ) (ア)に準ずるその他の乳房エックス線検査の講習会又は研修会          | 2 ※ <sup>2</sup><br>(40.0%)  | 3<br>(60.0%) | 0<br>(0.0%) |

※<sup>1</sup> (ア)の講習会に参加し、評価試験を修了した者 11 名（5 医療機関）の評価結果の内訳  
A：9 名 B：2 名

※<sup>2</sup> 第 49 回デジタルマンモグラフィ技術講習会、デジタルマンモグラフィ品質管理講習会

【表 1-8】 読影する医師の受講状況

※医療機関ごと（か所）

| 項 目                                        | 受講した                         | なし           | 不明          |
|--------------------------------------------|------------------------------|--------------|-------------|
| (ア) 日本乳がん検診精度管理中央機構主催又は共催の乳房エックス線検査に関する講習会 | 5 ※ <sup>1</sup><br>(100.0%) | 0<br>(0.0%)  | 0<br>(0.0%) |
| (イ) (ア)に準ずるその他の乳房エックス線検査の講習会又は研修会          | 1 ※ <sup>2</sup><br>(20.0%)  | 4<br>(80.0%) | 0<br>(0.0%) |

※<sup>1</sup> (ア)の講習会に参加し、評価試験を修了した者 8 名（5 医療機関）の評価結果の内訳  
A：4 名 B：4 名

自院で読影し、さらに他医療機関の B 評価以上の医師が読影している医療機関あり

※<sup>2</sup> 第 44 回デジタルマンモグラフィソフトコピー診断講習会